

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月17日	作成者名	亀井 亨	評価者名	栃本 由兼
-----	-------------	------	------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	消防本部・消防本部総務課
分野	01 消防・救急	関係課	消防本部・警防課
施策	28 消防体制の充実		消防本部・予防課
			消防署・消防第1課
		消防署・消防第2課	
施策の目的	大規模災害や特殊災害発生等に備えて、消防施設及び資材等を充実するとともに、消防職員、消防団員のスキルアップを図ることにより市民が安心して生活できるよう、消防体制の充実を図ります。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	消防職員研修事業
取り組み②	消防団厚生事業
取り組み③	消防車両の整備事業
取り組み④	大規模災害用対応資器材整備事業
取り組み⑤	デジタル通信システム整備事業
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
消防団員に対する教育	消防団員教育への年間受講率 (受講者数÷消防団員実員数)	%	85	80	81.3	86.1	87.8	92.9	94.3
消防団員の加入促進	団員定数に対する実員数 (実員数÷定数)	%	90	70	89.5	87.9	91.1	91.9	92.6
潜水隊員の養成	潜水隊1隊6名で3隊編成 (潜水隊員数)	人	18	15	15	18	21	22	24
その他施策の取組事項に係る成果	消防車両、デジタル通信システム等については、計画的な整備更新を実施し、消防体制の維持を図ることができた。								

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>災害の多様化や大規模化、戸田市特有の水害に備え、的確な対応が求められている。</li><li>老朽化した車両の更新整備と大規模災害等に対応できる資器材の充実が必要である。</li><li>就業構造の変化や地域コミュニティの希薄化などを要因として、地域防災力の向上を担う消防団員の確保が困難になっている。</li><li>庁舎内における新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要がある。</li></ul>	対応策	<ul style="list-style-type: none"><li>老朽化した消防車両や消防資機材の更新整備、最新の資機材を導入するとともに、高機能指令センターの保守・維持管理を実施し、消防体制の充実強化を図る。</li><li>職員に対する研修受講や資格取得の機会を提供し、高度な専門知識の獲得を促すとともに、増隊した救急隊の人員を引き続き確保します。</li><li>女性も含めた多様な消防団員の確保のため、学校や事業所、自主防災会など、様々なルートを通じて入団を働き掛けます。</li><li>新型コロナウイルス感染症対策として、自動噴霧消毒液、水栓自動化など職場環境改善を図る。</li></ul>
----	---	-----	---

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	消防体制の充実を図るため、必要な消防職員数として139人から168人に条例定数を改正した。消防整備としては、高規格救急車、消防ポンプ車の更新整備を図った。また、潜水隊員の育成を積極的に行った。消防団員は、年間で1人の入団を得ることができ目標値を達成している。
A		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	救急隊増隊に伴い、令和6年度まで毎年3名ずつ増員する。高額な高機能消防通信指令センターの部分更新が完了したことから、予算が減額となる見通しである。
↓		

## (評価者コメント)

職員定数が改正され、救急隊増隊を図った。救急救命士の育成及び救急車両の更新整備については計画どおり進捗している。潜水隊員の養成については目標を達成し人員を確保することができているが、引き続き訓練手法、訓練環境の整備を図り安定した出場体制を構築することが必要である。消防団の充実強化について、新規団員の加入があったものの、任期のある機能別分団員の退団に伴い、定数を満たして引き続き団員の加入促進を図っていく必要がある。
--





# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月17日	作成者名	亀井 亨	評価者名	栃本 由兼
-----	-------------	------	------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果							★事務事業の方向性			R 4 予 算 額	事業費  うち 一般財源										
		事業コード	事業内容	事業区分	R2決算額	事業の方向性	実施計画候補	評価結果				事業の方向性	実施計画候補			施策内優先度	コメント								
					R3予算額			施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性														
					R4計画額																				
	90	消防施設整備事業		法定	0	9	-	-	-	-	9		終		0										
	01   09   01   03   02   90	0																						0	
	平成21年度から新曽第一土地区画整理地内の公園予定		0																						0
			0																						
計 (千円)					事業費	505,706	213,436	192,051	129,372																
					うち一般財源	505,706	210,100	191,715	89,078																

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 令和4年度で終了    8 令和3年度で終了    9 令和2年度で終了